

10 柵工

10 - 1 竹柵工

特徴

竹資源の有効活用ができ、自然環境や景観にマッチする。

従来の木柵工に比較して透水性と適度な腐食性に優れているため、より自然な植生の回復に適している。

施工場所

背面土圧は小さく、構造物として耐久性を必要とせず、竹材が腐敗するまでに植生緑化が図れる場所に適用する。

施工方法

竹粗朶を杭木の後ろに布設し、鉄線により十分結束する。

全景



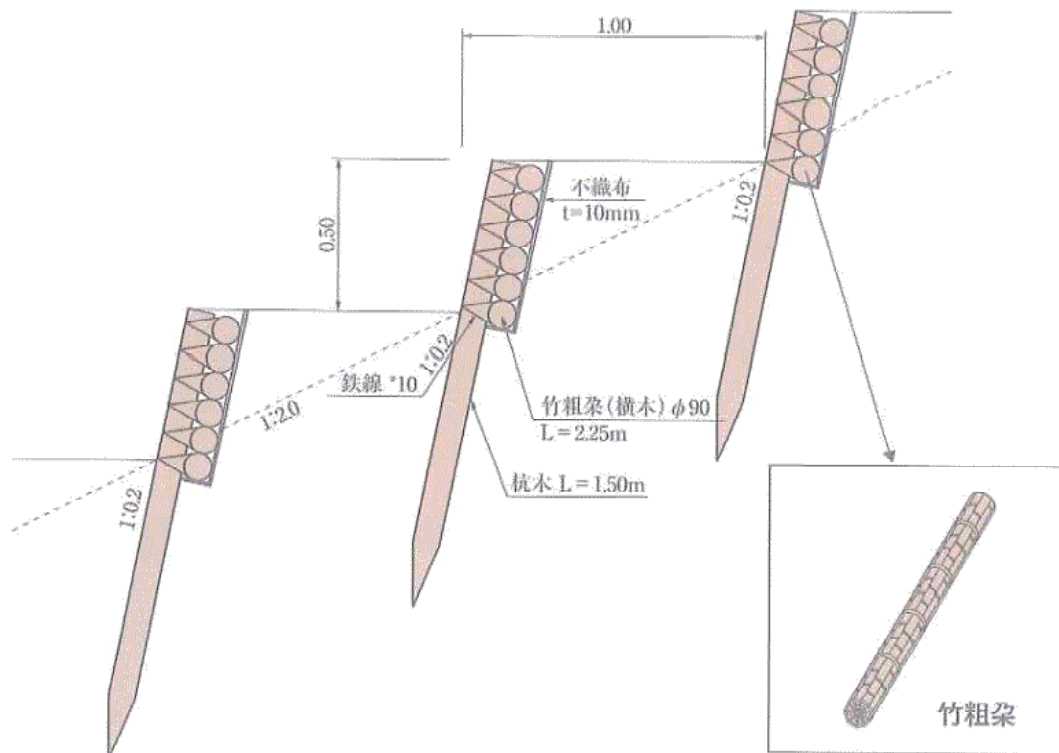
近景

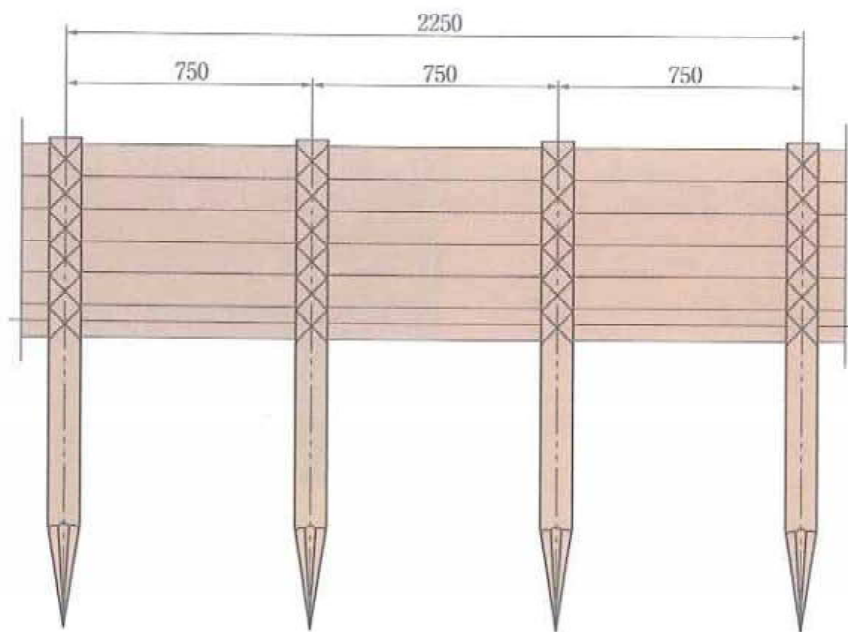


施工地：鹿児島県始良郡始良町
事業名：県単独治山事業
施工主体：鹿児島県

標準図

側面図





材料・歩掛表

(100 m当たり)

名称	規格	数量	単位	備考
苗木		60	本	クヌギ、ヤシャブシ
肥料		9	kg	
炭		60	l	
緑化基材		30	m ²	人力散布用、種子肥料付
杭木		150	本	末口径 8 cm、長さ 1.5m
竹粗朶(横木)		266.67	本	
なまし鉄線		30	kg	#10 線径 3.2mm
吸出防止材		50	m ²	合織不織布 t = 10mm
普通作業員		9.53	人	